

除染・線量	
長期ビジョンには「除染」の項目がない	○意見を踏まえて修正しました。 →長期において除染の項目を追加しました。。
中山間地域の除染も長期ビジョンに明記すべき	○意見を踏まえて修正しました。 →長期において除染の項目を追加しました。。
集落等の線量を測定する旨を短期ビジョンに盛り込んでほしい	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 モニタリングの詳細実施において、地域別や地目別の詳細モニタリングが必要と考えております。
子どもアンケートを見て、子供を放射線から守れるような内容を盛り込んでほしい	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 国の基準によらない、子どもたちにとっても安全・安心な水準での除染が必要だと考えております。
インフラ整備、特に水道関係、飲み水のモニタリングはしっかりとやるべき。	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 水源の徹底的なモニタリング、万が一のための浄水処理や新たな水源の確保等、徹底した安全確保策を実施していきます。
産業・雇用	
「新しい産業の集積」を短期に盛り込んでほしい	○意見を踏まえて修正しました。 →短期のふるさと再生の枠内に追加しました。
請戸の漁業者に対しては、住まない人と高台に住もうとする人の措置を分けて考えるべき	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 短期における、津波被災地域の整備計画の策定に関連記載箇所がございますので、ご確認をお願いします。
1年経過し、町民は我慢できなくなっている。ビジョン内に帰還の方針を明確に出すべき。	○原案のとおりとしました。 (理由)帰還の方針については、帰るためのビジョンと見られる懸念から、直接的な表現は避けておりますが、今後復興計画の中で町外コミュニティ形成やふるさと再生の工程等を示す過程でお示ししていきたいと考えています。
防火、防犯	
「防火・防犯の仕組み」についてもっと明記すべき	○意見を踏まえて修正しました。 →町内観測カメラや、見回りの強化による防犯・防火活動実施の記載を追加しました。
防火・防犯に触れる内容が足りない	○意見を踏まえて修正しました。 →町内観測カメラや、見回りの強化による防犯・防火活動実施の記載を追加しました。

第7回検討委員会部会議論内容(第1部会)

住居・住宅・コミュニティ	
コミュニティ形成 行政区長制度の継続実施とあるが、仮設の自治会との関わりをビジョンの内容に明記すべき	○意見を踏まえて修正しました。 →行政区長のあり方の見直し(絆を中心とした役割の強化)、自治会長の役割の見直し(行政との窓口としての役割の強化)を記載しました。
賠償	
どの項目を優先で話を進めていくのか明確にすべき(まずは賠償を考えていくべきでは?)	○原案のとおりとしました。 (理由)ご意見の趣旨は、一体的に解決を図ることを前提に、その上での重みづけをする必要があるのでは、という趣旨かと思いますが、町民に示した場合に優先順位が下位のものは後回し、ちゃんとやってくれない、といった印象を与える恐れがあるため、明確な順位付けは行っておりません。(優先順位を決めることと、示すことは別に考えたほうがよいのではという観点です。) また、賠償、住環境、健康、教育、除染等々、人によって先行して実施してもらいたいことは違っていると思われまますので、ご了承ください。
教育	
学習支援の充実はどう解釈すればよいのか分らない。	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。短期において、具体的な施策を記載しておりますのでご確認ください。
学校の再開をふるさと再生の項目に入れていくべき	○原案のとおりとしました。 (理由)ふるさとでの学校の再開については、短期の施策内に記載がありますが、あくまで意向を踏まえてのものと考えておりますので、今後保護者等の意見を踏まえて具体化していきたいと考えております。
災害公営住宅街という考え方を町内、町外に設置することの検討が必要	○意見を踏まえて修正しました。 →ふるさと再生についての施策に、住まいの整備、確保の旨の記載を追加しました。
区域の見直し	
避難指示解除準備区域に指定された地区の除染はどうするのか?	○原案のとおりとしました →現状、区域や線量、地形に応じた具体的な除染の工程をお示しするのは難しいため、復興計画のなかでお示します。

第7回検討委員会部会議論内容(第1部会)

計画	
安全に町で住めるようにするためには医療の整備は短期で考えるべき	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。短期において、具体的な施策を記載しておりますのでご確認ください。
計画を早急につくる旨の書き込みが必要	○意見を踏まえて修正しました。 →H24年度「早期」に策定 に修正いたしました。
ビジョンを役場内で消化していくには無理があるのではないか？	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。町だけでの復興は非常に困難であり、国、県、双葉郡、町民の協力があつて、復興が成し遂げられるといった趣旨を盛り込んでいますのでご確認ください。
復興計画をH24年度で策定では遅すぎる	○意見を踏まえて修正しました。 →H24年度「早期」に策定 に修正いたしました。
推進体制 誰がやるのか？外部の力を取り入れる必要があるのではないか？	○意見を踏まえての対応とします。 →推進体制については、外部の人材も活用していきたいと思っておりますのでご了承ください。
計画を策定する体制づくりと時期を明確にすべき	○意見を踏まえて修正しました。 →H24年度「早期」に策定 に修正いたしました。また、提言の中で、復興計画の策定体制を提言しておりますのでご了承ください。
計画策定の推進体制をビジョン本体に書き込むべきではないか？	○意見を踏まえての対応とします。 →提言の中で、復興計画の策定体制を提言しておりますのでご理解ください。 なお、ビジョン本体に記載すべきとのご意見については、町民の関心は「誰が、どのように決めるのか」ではなく、「何を、いつまでに行うのか」が重要だと考えますので、ビジョンの中での記載は原案のとおり必要最小限とさせていただきます。
ビジョンの内容が盛りだくさん 本当に消化しきれぬのか？財源の面で見通しがあるのか？	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。町だけでの復興は非常に困難であり、国、県、双葉郡、町民の協力があつて、復興が成し遂げられるといった趣旨を盛り込んでいますのでご確認ください。

第7回検討委員会部会議論内容(第1部会)

その他	
復興すべきなのは一人ひとりの生活というのを表紙にいれてはどうか？	○意見を踏まえて修正しました。 →表紙を修正いたしました。
ビジョン目次 ビジョンの趣旨に沿って、項目を分断させてはどうか？	○意見を踏まえて修正しました。 →13項目となっているものを、中分類を行い、6項目に整理。内容自体は現状のボリュームとしました。
ビジョンは将来的にぶれることがないようにすることは必要。その上で具体的な復興計画を作る体制作りを提言していくことが必要。	○意見を踏まえた対応とします。 →提言の中で、復興計画の策定体制を提言しておりますのでご了承ください。

〇ビジョンの構成・修正について	
<p>ビジョン全体としての量が多いので読んでもらえるかが難しい。概要版をメインとし、本体については詳細を知りたい人用とした方が良いのではないか。</p>	<p>〇指摘を踏まえて工夫しました。 →当面は原案のとおり。概要版を見やすい内容に修正。また本体の冒頭に全体概要を図示しました(4ページ)。 最終的に町民にお示しする際には、内容を精査し、8ページ程度の概要版も検討します。</p>
<p>ビジョンを策定しなくてはいけなくなった理由として、P4「1)策定の背景」の前にP5「2)災害の概要」を持ってきた方がよいのではないか。</p>	<p>〇原案のとおりとしました。 (理由)一般的にビジョンの目的が分かりにくいいため。どのような意味合いのビジョンであるかを優先的にお示しするため。</p>
<p>「1)ビジョン策定にあたって」は、ページ数が多いため、参考資料的な位置付けとし、ビジョンの始まりは、「2)復興の基本理念」からとした方がよいのではないか。</p>	<p>〇原案をベースに修正しました。 →本体の冒頭に全体概要を図示し、最初のページから内容の把握ができるようにいたしました。 (理由)復興の理念やビジョンのステップは、背景の理解なしに共有することは困難。委員会では議論を重ねてきたので当然の事項となっているが、多くの町民はそもそもどう捉えて良いから共有することが大事と考えたため。</p>
<p>P4～P16までのカテゴリが多いと思われるので、再度見直し大きな枠組みとした方がよいのではないか。</p>	<p>〇意見を踏まえて修正しました。 →13項目となっているものを、中分類を行い、6項目に整理。内容自体は現状のボリュームとしました。</p>
<p>P9のアンケート結果は、人数だけではなくパーセンテージの表示もあった方がよいのではないか。子どもアンケートが7割以上の回答を得ていて、大人たちよりも多く回答があったことを大人たちに知らせ、真剣に向き合うように気づかせるべきだと思う。</p>	<p>〇原案のとおりとしました。 (理由)回収率:大人59.6%、子ども70.1%を記載した際に、逆説的に大人の4割は答えていない、子どもの3割は答えていないという風に読まれてしまうと、現実には寄せられた1万人を超す町民また1200人を超す子どもたちの声が軽んじられてしまうという懸念があったため、元案といたしました。</p>
<p>P10「～早く集まって暮らしたい」の箇所の「早く」は「地区ごとに」と変更した方がよいのではないか。</p>	<p>〇原案のとおりとしました。 (理由)その趣旨を含めた記載としていますが、借り上げ住宅でそもそも孤立している方が現実には数倍となっている。本項目では多くの方に共通項の例示として示しました。</p>
<p>P6の下のイラストについて、ビジョンは復興計画の土台となるものなので、ビジョンの上に復興計画が乗るようイメージの方がよいのではないか。</p>	<p>〇ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 (理由)ご指摘の観点も確かにありますが、ビジョンから現実を広げていくというイメージであり、そのような記載とさせて頂きました。</p>
<p>具体的な計画を早く出してほしいという声が多い。ビジョンで示させているものでも、具体的施策がすでに進行しているのであれば、実施していることを記載した方がよいのではないか。</p>	<p>〇意見を踏まえての対応とします。 →町として策定する際に、現実には実施している取り組みの表示、提示を行うよう町側に求めます。 (提言書に記載しました)</p>

第7回検討委員会部会議論内容(第2部会)

<p>P21集約のイメージの色が異なるのは何か意図があつてのことなのか。特に意図がないのであれば、色は統一すべきではないか。</p>	<p>○原案のとおりとしました。 (理由)帰還の方針については、帰るためのビジョンと見られる懸念から、直接的な表現は避けておりますが、今後復興計画の中で町外コミュニティ形成やふるさと再生の工程等を示す過程でお示していきたいと考えています。</p>
<p>P5「②被害の概要」に、東電の事故により、十分な検索が出来ず助けられたかもしれない命を助けることが出来なかった旨を記載すべきではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「余儀なくされ、助けられなかった命があつたほか、すべての町民の日々の～」</p>
<p>子どもアンケート(自由意見)は、是非、付属資料として添付すべき。</p>	<p>○意見を踏まえての対応とします。 →委員会の提言時の付属資料として提出し、あわせて、町民への配布を町に要請します。(提言書に記載しました)</p>
<p>除染に関する知識が町民も不足している。児玉先生の講演資料や除染モデル事業の資料も付属資料として付けた方がいいのではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて対応します。 →町で策定し、町民に公表する際に、児玉先生の除染の見解(徹底した除染のあり方、森林除染のステップ、安心して住める線量の追求)の資料を添付したいと考えております。</p>
<p>P41の「ふるさと なみえ の再生」の中で、国立病院、国立の学校等を誘致することも検討すべきではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →中期の取り組みの中で、国立の病院についての言及を追加(浪江町でなく双葉郡でも可)、町内への高校、大学等の設置も記載しました。</p>
<p>町として、事業再開(就労再開)の支援策を記載すべきではないか。また、県外等において事業再開する場合の支援策も検討し、町として国へ訴えていくべきではないか。</p>	<p>○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 →委員会意見を踏まえ、かなり踏み込んだ記載とされているので内容の確認をお願いいたします。</p>
<p>P11「8)子どもたちの想い」と箇所、体のケアとして最高の医療を受けられることが出来る旨、記載すべきではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「<u>体と心のケア</u>」としました。</p>
<p>○除染について</p>	
<p>山林除染の方法を早期に確立することも短期で示した方がいいのではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「研究機関と協力し、山林除染の具体的なプログラムを策定し、国に実現を要請する」旨の記載を短期において記載しました。</p>
<p>○高齢者等への支援について</p>	
<p>年金受給者、生活保護の方たちへの支援策、考え方も記載すべきではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →長期において高齢者福祉についての記載を充実いたしました。</p>
<p>高齢者が安心して生活できるような支援策等も記載すべきではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →長期において高齢者福祉についての記載を充実いたしました。</p>

第7回検討委員会部会議論内容(第2部会)

<p>○子どもたちのために</p>	
<p>不登校の子どもたちが多いということを踏まえ、子どもたちが悩みを言えるような施策(集まる機会を増やすとか)が必要ではないか。また、子どもの立場に立った対応策が必要ではないか。(子どもたちに接する職員等の対応の教育も必要になってくると思う。)</p>	<p>○今後の復興計画で具体的な検討を行っていきます。 →ビジョンでも集まる機会の充実やケアを記載していますが、より踏み込んだ記載となるため、復興計画の中で記載していきます。</p>
<p>○町外コミュニティ</p>	
<p>「町外コミュニティ」については、「一人ひとりの暮らしの再建」のいち項目ではなく、「一人ひとりの暮らしの再建」と同じレベルの項目に位置付け、短期、中期、長期で 対策を検討していくべきではないか。</p>	<p>○原案のとおりとしました。 (理由)町外コミュニティは、現記載の中でも中長期的にも充実を図る内容として整理を行っております。また「一人ひとりの暮らしの再建」で～どこにいても浪江町民～として、町外での居住をより強調した項目として今般整理しています。【部会でもその方向で了承済み】</p>
<p>町外コミュニティ設立先の自治体とのかかわり方に関する記載が必要ではないか。 災害公営住宅街だとしても、いつまでの避難者でいるわけにはいかない。設立先の自治体の住民となり、生活していくのであれば税金も納めなければいけない。浪江町の住民でありながら、設立先の自治体の住民であることが可能となるように取り組むべきではないか。</p>	<p>○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。 (理由)当該趣旨が前回委員会で提起されており、その観点を踏まえ、二重住民票の記載を行っています。</p>
<p>町外コミュニティが出来れば、そこに自治会が出来ると思うが自治会(長、組織)としての位置付けを明記すべきではないか。(現在の自治会と行政の位置付けが不明確。また、行政区長のような権限はもっていないため。)</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →行政区長のあり方の見直し(絆を中心とした役割の強化)、自治会長の役割の見直し(行政との窓口としての役割の強化)を記載しました。</p>
<p>町外コミュニティが出来れば、新たな行政区のあり方として行政と区長の間を明記するべきではないか。また、現在の区長は、町民の絆を守るためにも「ふるさとの区長」として必要であり、自治会長は、町外コミュニティを維持するために「町外コミュニティの区長」として必要なので、役割を分担させるべきではないか。その役割を明記するべきではないか。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →行政区長のあり方の見直し(絆を中心とした役割の強化)、自治会長の役割の見直し(行政との窓口としての役割の強化)を記載しました。</p>

○総論	
時系列で整理したほうが分かりやすい。P4「1)策定の背景」の前にP5「2)災害の概要」を持ってきたうえで、「災害の発生」にタイトルを修正。	○原案のとおりとしました。 (理由)一般的にビジョンの目的が分かりにくいいため。どのような意味合いのビジョンであるかを優先的に示すため。
「1)策定の背景」のうばわれたものの記載をもっと強く表現してほしい。奪われたものは生活だけでなく、人生や生きがい、目標など計り知れない。	○意見を踏まえて修正しました。 →奪われたものの記載にご意見の観点を盛り込みました。
「被害の概要」の避難状況について、もっと詳細な情報を載せたほうが良い。県内市町村別、都道府県別等	○意見を踏まえて対応しました。 →該当部分での記載ではなく、復興ビジョンの付属資料に避難の詳細添付いたしました。
第4次長計との関連はなくてもよいのでは？第4次長計自体が意味がなくなっているのに…	○意見を踏まえて修正しました。 →長計自体を引き継いでいるのではなく、長計における考え方、協働の精神を引き継いでいるという観点で修正しました。
唐突に第4次長計との関連が出てくるのが違和感がある。町づくりのエッセンスのみを引き継ぐことをもっと分かりやすく、または、長計自体が現在も有効で、長計に基づく行政運営をしているのであれば、その旨を説明すべき。	○意見を踏まえて修正しました。 →長計自体を引き継いでいるのではなく、長計における考え方、協働の精神を引き継いでいるという観点で修正しました。
「復興＝一人ひとりの暮らしの再建」の定義づけが強すぎる。後でふるさととの再生がでてくるので、矛盾しているととられる可能性も…	○意見を踏まえて修正しました。 →「最優先に復興させるものは、一人ひとりの暮らしの再建」に修正しました。
「子どもたちの願い」:○○できない→願いではない。○○したいといった書きぶりに修正	○意見を踏まえて修正しました。 →アンケートの質問項目をそのまま活かす形の記載としていたため、原文はそのままとし、最後に「などの様々な心配事や不安を解消してほしいという願い」を追加しました。
8)子どもたちの想いはもっと前の章にあったほうがよいのでは？	○ご指摘の趣旨を踏まえた原案としています。短期における、津波被災地域の整備計画の策定に関連記載箇所がございますので、ご確認をお願いします。
P19あたりから言葉づかいの調子が、ですます調から変わってきている。語尾は柔らかい方がよいと思う。 手切れ金を渡すだけ～ 表現が強い…	○原案のとおりとしました。 (理由)帰還の方針については、帰るためのビジョンと見られる懸念から、直接的な表現は避けておりますが、今後復興計画の中で町外コミュニティ形成やふるさと再生の工程等を示す過程でお示ししていきたいと考えています。
東京電力の責任や責務も記載すべきではないか。今の書きぶりでは国・県に対して訴えることはできても、東電に訴える内容とは言えない。	○意見を踏まえて修正しました。 →P20に「東京電力の責任と責務・役割、そして国の責任」の項目を追加しました。

第7回検討委員会部会議論内容(第3部会)

<p>最終的には個人の責任と読める。言っていることは理解できるが、釈然としない人も多数いるはず。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「この災害の中でこれまでもそれぞれが努力を重ねてきており、これまでと同様に一人ひとりの努力も必要」といった観点で修正し、全体的なトーンを和らげました。</p>
<p>復興は、国・県・町だけで成し遂げてよいのか？本当に成し遂げられるのか？ →町民一人ひとりに復興を押し付けている感がある。→「復興は国・県・町だけで成し遂げられるのか」に統合</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「復興は国・県・町だけで成し遂げられるのでしょうか？」に修正しました。</p>
<p>○復興の道筋について</p>	
<p>中通りの色が薄いのは疑問。アンケートを取ったときよりも、それぞれが中通りに根付き始めているのが現状なので、中通りと浜通りを差別化をする局面ではないと思うが...</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →浜通りは統一し、中通りは現行の色としました。(理由)浜通りは既存アンケートで高い率を示しており、町民の多くはそういった地域での優先設置を求めているため。中通りも同様の色合いとすると、分かりやすさに欠けることを憂慮しての記載となっています。</p>
<p>乗り越えるべき課題:「○○の解消」「○○の改善」→課題ではなく目標になっている。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →改善、解消といった文言を削除しました。</p>
<p>○復興ビジョンに基づく復興計画での取り組みの方向性について</p>	
<p>実行していくものは実行していくとあるが、H24年度に実際に実施するものを記載すれば納得感が増す。記載すべき。</p>	<p>○意見を踏まえての対応とします。 →町として策定する際に、現実には実施している取り組みの表示、提示を行うよう町側に求めます。(提言書に記載しました)</p>
<p>○除染について</p>	
<p>除染の参考事例や実績を示せば納得感が増す。事例等をもっと盛り込むべき</p>	<p>○意見を踏まえての対応とします。 →町として策定する際に、付属資料として添付するよう町側に求めます。</p>
<p>大規模減容化施設の説明が必要では</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「町内仮置き場に仮置きされる放射性廃棄物の量を減らすための減容化施設」に修正しました。</p>

第7回検討委員会部会議論内容(第3部会)

<p>○放射線に対する理解の向上</p>	
<p>放射線への教育は国民的な教育とするべき。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →風評被害や、いじめ問題等の原因でもあるため、「国全体で知識・理解を向上させていくような取り組みを国に求めていく」旨の記載を追加しました。</p>
<p>○絆の維持</p>	
<p>伝統文化や浪江ブランドの継承に「伝統的工芸品」も加えてほしい</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「伝統文化や伝統的工芸品、浪江ブランドの継承～」に修正しました。</p>
<p>○インフラ復旧</p>	
<p>請戸漁港の復旧と並行して、大柿ダム等の農業インフラの復旧を盛り込むべき</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →農業インフラの復旧についての記載を追加しました。</p>
<p>津波被災地の「復旧」計画→元に戻すわけではないので「復興」計画ではないか？</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →復旧の側面と復興の側面が共存していましたので、一義的に「整備」計画といたしました。</p>
<p>津波被災地の復興イメージが湧かない。具体的な土地利用や高台移転について書き込むべき。</p>	<p>○今後の復興計画で具体的な検討を行っていきます。 →土地利用や高台移転については、合意形成に至っていない段階で詳細を記載することはできないため、今後、町民の意向も把握した上で、復興計画で盛り込んでいきます。</p>
<p>広域交通網の整備について、JRの完全復旧、ダイヤ等の利便性の要望に、「高速化」を追加してほしい。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「復興のための物流や人の流れを加速するために、JRの高速化を要請」の旨を追記しました。</p>
<p>広域交通網の整備について、「国道288号」「浪江との連絡線の整備」を追加</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「物流や交流の基盤であり、避難道として、また浪江町と避難先とを繋ぐ連絡線として必須となる国道6号、国道114号、国道288号等の放射線遮蔽～」に修正しました。</p>

第7回検討委員会部会議論内容(第3部会)

<p>○町外コミュニティ</p>	
<p>復興住宅街で商売を成り立たせるには、広域的なもので2万人程度の規模とするのがよいのではないか？</p>	<p>○原案の通りとしました。 ご意見を参考にさせていただいた上で、詳細については、町民の意向も把握した上で、復興計画で盛り込んでいきます。</p>
<p>○地域を支える雇用</p>	
<p>除染ビジネスはゼネコンの利益になりつつある。地域を支える雇用の場として、また協働の観点からも、失対事業として除染を行える枠組みが必要。</p>	<p>○原案の通りとしました。 除染については町民の協力が必要不可欠ですが、前提条件が定まっていない現状で、「町民主体の除染」といった概念は、無用の混乱を生むため、復興計画のなかで具体的に整理していきます。</p>
<p>○災害を後世に残す施設</p>	
<p>施設案：原発事故記念会館、災害墓地公園</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →災害の記憶を伝えていく施設のほかに、犠牲になった方々への慰霊、鎮魂の施設を記載しました。 なお、施設の詳細については、町民の意向も把握した上で、復興計画で盛り込んでいきます。</p>
<p>○その他意見</p>	
<p>「再建」「再生」の使い方を統一</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「暮らしの再建」「ふるさとの再生」の使い方を統一しました。 なお、暮らしの再建よりも暮らしの再生のほうがメッセージ性が強く、概念的にも広く捉えてもらえるとの判断から、基本理念の中では例外的に「暮らしの再生」としております。</p>
<p>災害公営住宅街、町外コミュニティ、集約したコミュニティ、復興コミュニティ、等々の文言は統一</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 →「町外コミュニティ」で統一しました。 なお、施策中に、コミュニティづくりやまちづくりの方法論として、復興公営住宅街という文言を使用している箇所もありますのでご理解ください。</p>

第7回検討委員会部会議論内容(第3部会)

<p>中間貯蔵施設の建設の是非については、浪江町としてきちんと考えを示すべき。</p>	<p>○意見を踏まえて修正しました。 「地域住民、双葉郡8町村、国、県との協議を踏まえた、中間貯蔵施設の建設の是非、場所、あり方等の早期決定」を追加しました。 今後、早急に町としての考え等をお示しできるよう尽力いたします。</p>
<p>戻った際に不利益にならない取り組みをもっと強調して記載すべき。(戻るインセンティブをもっと盛り込むべき)</p>	<p>○原案の通りとしました。 町民それぞれがどんな選択をしようと、それぞれの選択に応じてしっかりと対応していくという考え方を踏まえ、ふるさとに帰るためのビジョンとの誤解を生む可能性があるため、ふるさとに戻るメリットといった観点での記載はいたしませんでした。</p>

※軽微な修正については基本的には全て修正済み。
 以下は反映・修正を行わなかったもののみ記載

項目	修正結果
復興公営住宅の形や大きさを示せないか？	○原案のとおりとしました →現状お示しするのは難しいため、復興計画のなかでお示します。
P19 被災地域だけで負うべき問題ではないのではないか→問題ではない！ 対応していくべき問題ではないか→問題である！ に修正したほうがよいのではないか？	○原案のとおりとしました →該当箇所については、押し付けではなく、町民一人ひとりに考えていただきたい部分でもあるので、断定ではなく問いかけにいたしました。
放射線よりも放射能の方が適切ではないか？	○原案のとおりとしました →人体に有害なのは α 線、 β 線等の放射線であり、放射能は、放射性物質が放射線を出す力のことであるため、放射線と記載させていただきま す。 なお、一般的に使われている放射能のほうが町民は読みやすいかとは思いますが、今後、放射線に対する正しい知識を普及していくことを前提として、現段階から科学的に正しい用語を使用させていただいております。
P12 一日も早く「国や東電は」復興像や将来像を示すことが必要に修正	○原案のとおりとしました →該当箇所については、復興像を示すべき主体は誰なのかを提起するものではなく、一般論として、「先行きの見えない今、早急に先行きを示す必要がある」ことを明示しているため、原案の通りといたしました。（東京電力、国に限定してしまうと、示すべき主体は誰なのかといった趣旨で受け止められるため）
町の拠点となる仮役場の位置と建設時期を示しては？	○原案のとおりとしました →町民や受入自治体等との合意形成が図れていない段階でお示しするのは難しいため、今後の町外コミュニティを形成していくなかで検討いたします。
避難解除区域を含めた除染工程と実施期日等を明記しては？ また、線量マップを早急に公表すべきでは？	○原案のとおりとしました →現状、区域や線量、地形に応じた具体的な除染の工程をお示しするのは難しいため、復興計画のなかでお示します。 なお、線量マップについてはビジョン公表時に配布するとともに、HP等で公表してまいります。

第7回検討委員会 提出いただいた軽微な修正について

※軽微な修正については基本的には全て修正済み。

以下は反映・修正を行わなかったもののみ記載

項目	修正結果
お墓参り・・・宿泊費の助成検討をもっと早い時期に制度化すべきではないか？	○原案の趣旨で修正いたしました →該当箇所については、「ふるさとに集まる機会の創出」という項目に変更させていただきました。 なお、具体的な制度の検討については早期に実施していきますが、本項目の主な対象者となる方（＝現在戻るつもりがない、長期間戻れないと思っている方）の、ふるさとの再生は難しいという気持ちに対して、本項目を短期等で記載しても理解が得られないかと考えますので、ご理解ください。